

血対ID	受理日	番号	感染症 (PT)	出典	概要	新出文 献
70165	2007/11/ 29	70768	ウイル ス感染	J Clin Microbiol 2007; 45: 3008-3014	ヨーロッパでの出血熱は主にPuumalaウイルス(PUUV)またはDobravaウイルス感染による。ドイツ南東部Lower Bavariaでハンタウイルス感染患者31名について、酵素免疫測定法、免疫蛍光法、免疫プロット法による診断を行った。標準的検査による抗体のPUUV特異的タイピングができない症例が2、3あった。3名の患者の急性期血清から得たPUUV RNAをRT-PCRを用いて増幅したところ、同地域で捕獲したハタネズミから得たウイルス配列と非常に近縁であることが明らかとなった。	13
70107	2007/09/ 21	70537	ウイル ス感染	Proc Natl Acad Sci 2007; 104: 11424- 11429	マレーシアMelakaで高熱と急性呼吸器疾患に罹っていた39歳男性から未知のreovirusが分離され、Melaka virusと名づけられた。患者の家族も発症したが、彼らは発症前にコウモリと接触していた。遺伝子配列分析により、同ウイルスは同国Tioman島のフルーツコウモリから分離されたPulauウイルスと近縁であることが示された。同島住民は109例中14例(13%)が両ウイルスに陽性であった。Orthoreovirusがヒトの急性呼吸器疾患と関係があることが初めて示された。	14
70112	2007/09/ 28	70553	ウイル ス感染	ProMED-mail 20070702.2108	2007年6月22日、ミクロネシアのヤップ保健局で集められた血液検体をCDCの研究所で検査した結果、ヤップでの最近の疾病はジカウイルスが原因らしいことが示された。ヤップのアウトブレイクは2007年4月に始まり、5月後半にピークに達し、現在も続いている。症状は斑点状丘疹、結膜炎、関節痛など軽症で、4-7日間続く。6月29日現在、42例がPCRとIgM分析によってジカウイルス感染と確定された。死亡例はない。	15
70112	2007/09/ 28	70553	ウイル ス感染	ProMED- mail20070216. 0586	西オーストラリア保健当局は、東Kimberleyと東Pilbara地区で蚊が媒介するウイルスの証拠が見つかったとして、西オーストラリア北部に居住あるいは滞在中の人々に、蚊に注意するよう呼びかけた。西オーストラリア大学が実施するサーベイランスプログラムによって、今年の雨期に初めてクンジンウイルスが確認された。クンジンウイルスは、蚊によって媒介されるウイルスで、マレーパレー脳炎(MVE)ウイルスと同じグループに属する。	
70112	2007/09/ 28	70553	ウイル ス感染	ProMED- mail20070216. 0596	ペルーの地方保健局長官は、Cuzco県La Convencion郡で黄熱による死亡例3例が発生したと報告した。Cuzcoの保健当局によると、このうち1例はMatoriato地区で発生したとのことである。当局は、La Convencion郡に向かう人全員を対象とした黄熱のワクチン接種キャンペーンを含む危機管理計画の策定を決定した。	
70107	2007/09/ 21	70537	ウイル ス感染	ProMED- mail20070423. 1325	オーストラリアのVictoriaで、一人のドナーから臓器移植を受けた3例が死亡したが、未知のウイルスが原因であった。このウイルスはリンパ性脈絡髄膜炎ウイルスと近縁であったが、既存のスクリーニング法では検出されなかった。454 Life Sciencesによって確立された迅速シーケンシング技術とGreene Laboratoryによって開発されたバイオインフォマティクスアルゴリズムによって発見された。	